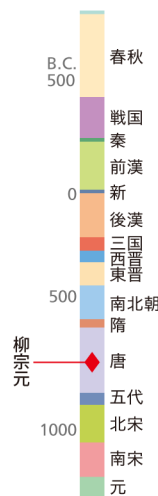


送薛存義之任序

柳宗元



河東^①薛存義^②將行^③。柳子載肉於俎^④、崇酒於觴^⑤、追而送之^⑥。江、濟、飲^⑦、食之^⑧。且告曰^⑨：「凡吏^⑩於土者^⑪、若知^⑫其職^⑬乎^⑭。蓋民^⑮之役^⑯、非以役民^⑰而已^⑱也^⑲。凡民^⑳之食^㉑於土^㉒者^㉓、出^㉔其什一^㉕、傭^㉖乎吏^㉗、使^㉘司^㉙平^㉚於我^㉛也^㉜。今^㉝、受^㉞其直^㉟、怠^㊱其事^㊲者^㊳、天下^㊴皆然^㊵。豈^㊶唯^㊷於我^㊸也^㊹。又^㊺從^㊻而盜^㊼之^㊽。向^㊾使^㊿傭[㋀]一夫[㋁]於家[㋂]、受[㋃]若[㋄]直[㋅]、怠[㋆]若[㋇]事[㋈]、又[㋉]盜[㋊]若[㋋]貨[㋌]器[㋍]、則[㋎]必[㋏]甚[㋐]怒[㋑]而[㋒]黜[㋓]、罰[㋔]之[㋕]矣[㋖]。以[㋗]今天[㋘]下[㋙]多[㋚]類[㋛]此[㋜]而[㋝]民[㋞]莫[㋟]敢[㋠]肆[㋡]其[㋢]怒[㋣]而[㋤]黜[㋥]、罰[㋦]之[㋧]矣[㋩]。」

5

何[㋪]哉[㋫]。勢[㋬]不[㋭]同[㋮]也[㋯]。勢[㋰]不[㋱]同[㋲]而[㋳]理[㋴]同[㋵]。如[㋶]吾[㋷]民[㋸]何[㋹]有[㋺]達[㋻]於[㋼]理[㋽]者[㋾]、得[㋿]不[㌀]恐[㋱]而[㋲]畏[㋳]乎[㋴]。存[㋵]義[㋶]、假[㋷]令[㋸]零[㋹]陵[㋺]二[㋻]年[㋼]矣[㋽]。蚤[㋾]作[㋿]而[㌀]夜[㋱]思[㋲]、勤[㋳]力[㋴]而[㋵]勞[㋶]心[㋷]、訟[㋸]者[㋹]平[㋺]、賦[㋻]者[㋼]均[㋽]。老[㋾]弱[㋿]無[㌀]懷[㋱]、詐[㋲]暴[㋳]憎[㋴]其[㋵]為[㋶]不[㋷]虛[㋸]取[㋹]直[㋺]也[㋻]。的[㋼]矣[㋽]。其[㋾]知[㋿]恐[㌀]而[㋱]畏[㋲]也[㋳]、審[㋴]矣[㋵]。吾[㋶]賤[㋷]且[㋸]辱[㋹]、不[㋺]得[㋻]與[㋼]考[㋽]績[㋾]。幽[㋿]明[㌀]之[㋱]說[㋲]、於[㋳]其[㋴]往[㋵]也[㋶]、故[㋷]賞[㋸]以[㋹]酒[㋺]肉[㋻]、而[㋼]重[㋽]之[㋾]以[㋿]辭[㌀]。」

5

(唐宋八大家文讀本)

◆序 文体の一種。ここは、送別の時に贈る文章。

①河東 地名。現在の山西省永濟市の西。

②薛存義 生没年未詳。有能な役人として知られ、零陵県の県令代理に抜擢された。

③柳子 作者自身をいう。「子」は、こは、男子の自称。

④俎 祭器で、肉を載せるまな板形の膳。

⑤吏於土者 その土地で役人となる者。

⑥食於土者 土地を耕して生活している者。農民。

⑦什一 (収穫の)十分の一(の租税)。

⑧平 公平な政治。

⑨直 ここは、報酬、の意。

⑩黜罰 退け罰する。「黜」は、官職を落とす、やめさせる、の意。

⑪假令零陵 零陵県の仮の長官であること。「令」は、地方長官。零陵県は現在の湖南省永州市。

⑫賦 租税。

⑬考績幽明之説 朝廷で、官吏の功績を調べ、それによつて降格・昇進を決めるための会議。

*將[㋱]レ[㋲]今[㋳]にも[㋴]〔し〕ようと[㋵]する[㋶]。〔再読文字〕

*而[㋷]已[㋸]ただ[㋹]〔する〕だけだ[㋺]。

*豈[㋻]唯[㋼]又[㋽]どうして[㋾]ただ[㋿]〔する〕だけであらうか、また[㌀]〔ある〕のだ。〔累加〕

*向[㋱]使[㋲]仮[㋳]に[㋴]〔し〕たら[㋵]。〔仮定〕

*何[㋱]哉[㋲]どう[㋳]いうわけか。〔疑問〕

*如[㋱]レ[㋲]何[㋳]を[㋴]どう[㋵]しようか。〔疑問〕

*乎[㋱]〔する〕であらうか、いや、[㋲]〔し〕ない。〔反語〕